2026 年度

研究分野	授業科目名	科目責任者
形態系分野	腫瘍内科学特論Ⅱ	瀧川 奈義夫

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1,2	選択	2	

目的

難治性悪性腫瘍に対するがん薬物療法の更なる進歩を遂げるため，悪性腫瘍に関する分子生物学の基礎知識を身につけ，腫瘍内科医としての総合的な臨床能力を向上させる。

授業到達目標

（1）悪性腫瘍（特に肺がん）の細胞特性を理解し，説明できる。
（2）悪性腫瘍の分子生物学的分類を理解し，治療方針を説明できる。
（3）悪性腫瘍の微小環境（特に血管新生・免疫反応）を理解し，治療への応用を模索できる。

授業計画

回数	月日	曜日	時間	担当者	区分 1	区分 2	授業内容
1	隔週	金	17:00-18:00	瀧川 奈義夫	講義	[抄読会]	肺がんをはじめとする腫瘍学一般の最新知見，基礎研究に関する英語文献を紹介する。 [場所:総合医療センター11 階西カンファレンス室]
2	隔週	金	17:00-18:00	瀧川 奈義夫	講義	[抄読会]	トランスレーショナル研究について，英語文献をもとに討論する。 [場所:総合医療センター11 階西カンファレンス室]

評価方法

（1）１年間※で 30 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2）１年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
　　ただし，特論Ⅰ・Ⅲで紹介したものとは異なる論文 （症例）であること。
※２月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。

課題（レポート等）に対するフィードバック

紹介論文の理解内容を諮問，あるいは要約を添削する。

教科書

ISBN-978-4-524-20426-7, 新臨床腫瘍学（改訂第 7 版）, 日本臨床腫瘍学会, 南江堂, 2021

参考書

ISBN-978-1-975184-74-2, DeVita, Hellman, and Rosenberg's Cancer : Principles & Practice of Oncology（12th Edition）, V.T.DeVita,Jr., T.S.Lawrence & S.A.Rosenberg, Wolters Kluwer Health, 2023

準備学習（予習・復習等）

（1）自身の研究に関する英語論文を読み，理解したことを説明すること。
（2）講義の後，7 日以内に論文の要点を提出すること。

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

課題を探求し，仮説立脚，検証に至るまでの科学的方法論・思考法を知悉する。

注意事項・メッセージ

自由な発想を大事にし，それを具現化する方法を論文から得る。